



平成25年8月31日(土)に
中央図書館開館30周年記念「図書館まつり」を開催しました



長田弘氏講演会



ぬいぐるみおとまり会



30周年の記念植樹では
ハナミズキを植えました

図書館報

Number 77

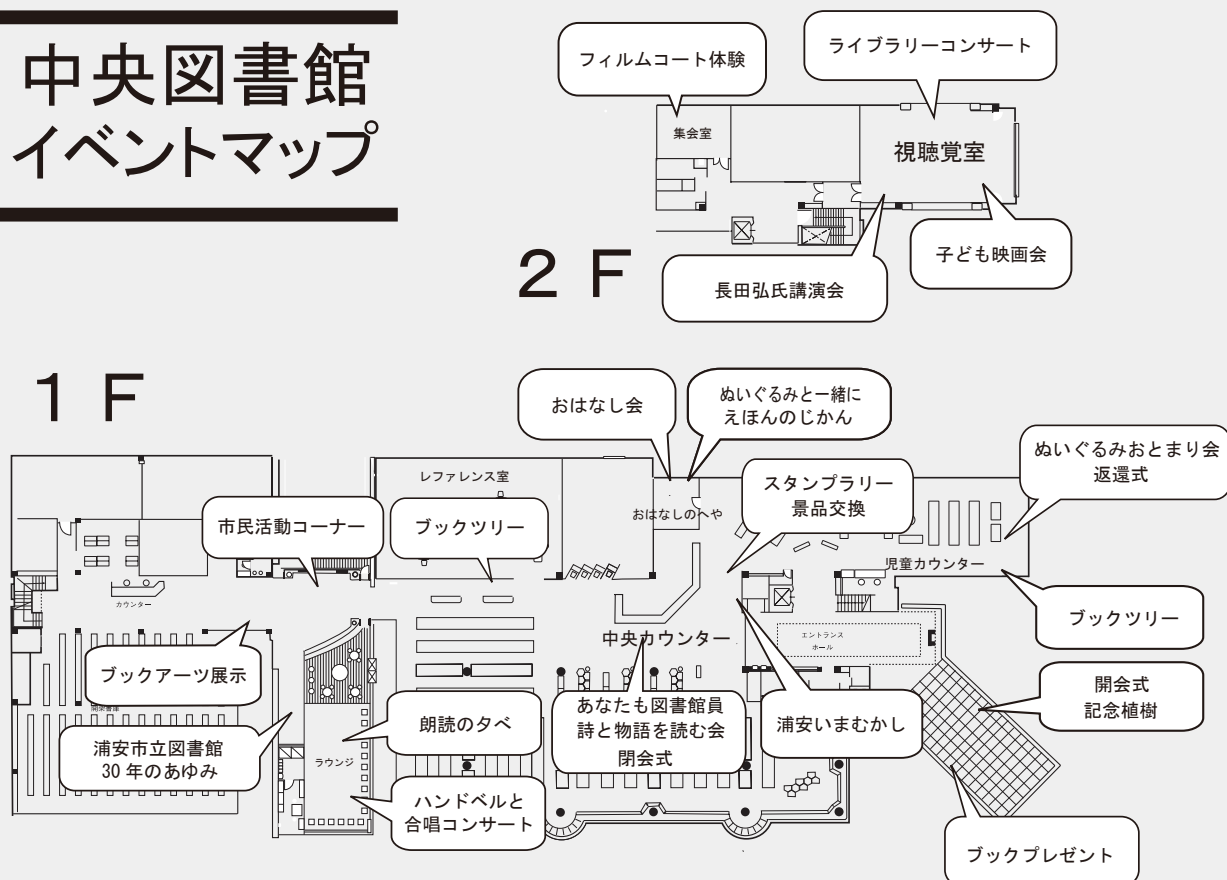
中央図書館
開館30周年記念号



浦安市立図書館

URAYASU PUBLIC LIBRARY

中央図書館 イベントマップ



平成 25 年 3 月に中央図書館は開館 30 周年を迎えました。30 年間の長きに渡り、図書館を支えていただいた多くの市民の皆様への感謝の意をこめて、あわせて東日本大震災からの復興を願い、平成 25 年 8 月 31 日（土）に、『図書館まつり』として各種記念事業を実施しました。

開会式・記念植樹

開会式では、教育長挨拶と開会宣言を行いました。開会式終了後には、図書館南側の植樹スペースに 30 周年の記念樹としてハナミズキを植えました。



長田弘氏講演会「わたしたちにとって大切なもの」

詩人の長田弘氏をお迎えした記念講演会は、100名の方にご参加いただき、満席の会となりました。

「わたしたちにとって大切なもの」は言葉であるということ、ただし言葉ですべてを言うことができると考えるのは間違いであり、言葉はあいまいなものである、など言葉のあり方についてお話をいただきました。講師がご自身の詩を朗読する場面では、会場が感動に包まれました。



ブックアーツ 世界でただ1冊の本を作ろう

ブックアーツは欧米では盛んな本の芸術です。7月20日と27日の2回にわたり講師の安里シエラ先生のご指導のもと、のべ39名の方がワークショップに参加しました。第1回はモンベル紙にクレヨンと絵の具で自由に彩色を施した折り本（ミアンダーブック）を制作し、第2回では色上質紙を縫い綴じ、ビーズやスパンコールなどで装飾した縫い本を制作しました。受講生の皆さんの作品は7月30日から中央図書館で展示しました。



ブックツリー

葉っぱの形の記入用紙におすすめの本を書いても
らい、中央図書館と各分館に展示されたツリーに飾っ
ていきました。

記入用紙は各館に用意したほか、市内の小中学校、
高校でも配布したところ、多くの児童、生徒の皆さん
に参加いただきました。

図書館に来館するたびに書いてくれるお子さんや、
親子で相談しながら書く姿も見られ、最終的には、
中央図書館、分館合わせて 1,500 枚近くの用紙が集
まり、立派な本の樹が完成しました。



ブックツリーに飾られたおすすめの本より

『なにもしてない』

笠野頼子／著 講談社

30 周年おめでとうございます。
私も開館以来 30 年通わせて頂
いています。
この本は私が悩んでいた時期に
「なにもしてない」と云う書名に
ひかれ読み、それ以来笠野頼子
の愛読者です。

『最初の質問』

長田弘／詩 いせむでこ／絵 講談社

8 月 31 日の長田弘さんの講演会
とてもステキな時間でした。「ことば」
の持つ力、信じていこうと思います。

『食堂かたつむり』

小川糸／著 ポプラ社

「め」に浮かんでくるような
「し」んせん素材を使った料理
「あ」なたは誰とどんなディナーを？
「か」いこくじんの彼を失い、
声が出なくなったオーナーシェフの
「れ」すとらんではなく、食堂の
お話です。

『エルマーのぼうけん』

ルース・スタイルス・ガネット／作 福音館書店

子供の頃大好きな本でした。
何度も読みました。
また読みたくなりました!!
大人になってもおもしろいです♪

『おかあさんおめでとう』 (くまの子ウーフの絵本)

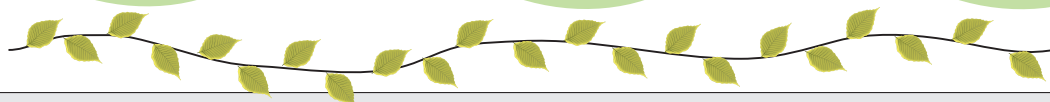
神沢利子／作 ポプラ社

「楽しい絵だから」(4才)
「お母さんのための冒険か、
ウーフを少したくましくしま
したね」(母)

『おいしいのぼうけん』

古田足日／作 田畑精一／絵 童心社

すごくかんどうして、さいごがドキド
キして、なんかいいよめるかんじでし
た!



スタンプラリー

中央図書館と各分館では、7月20日から8月末まで図書館資料を借りていただいた際にカードにスタンプを押していくスタンプラリーを行いました。図書館まつり開催日より、景品との交換を開始しました。スタンプ1個以上で参加賞、15個以上で参加賞および記念品と交換をしました。図書館まつり当日には900名の方が景品を交換されました。



ブックプレゼント



図書館では、例年「市民まつり」の会場で、リサイクル資料の配布を行っています。図書館まつりの「ブックプレゼント」では、これまでには見られなかったほどの多くの方が、中央図書館入り口手前に設置した会場にお集まりいただきました。当日は約630名の方に2,150冊の図書資料を配布しました。

おはなし会

おはなしのへやでは、11時、13時30分、15時30分の3回、「図書館まつりおはなし会」を開催しました。午前中の回では、ぬいぐるみおとまり会に参加した子どもたちが、ぬいぐるみと一緒におはなしを聞きました。当日は子どもだけではなく、大人の方も参加され、合計で58名の方が図書館職員によるおはなしを楽しみました。



ぬいぐるみおとまり会



図書館まつりの前日 30 日に、子どもたちが大事にしているぬいぐるみが図書館にチェックインし、一晩お泊りをしました。

図書館まつりでは、ぬいぐるみの返還式を行いました。式では、教育長から参加をした 20 人の子どもたちひとりひとりに、お預かりしたぬいぐるみをお返しし、同時に「おとまり証明書」と、ぬいぐるみが夜のあいだ図書館で絵本を読んでいる姿などを撮った写真を差し上げました。証明書は冊子になっていて、ぬいぐるみたちが読んでいた絵本が紹介されています。

返還式終了後には、子どもたちがぬいぐるみと一緒に絵本の読み聞かせを楽しみました。



フィルムコート体験

本に保護フィルムを装備してみる体験型の催しでした。26 名の参加者の皆さんが図書館員と一緒に作業を行いました。

最後に記念としてご自宅用に図書 2 冊分のフィルムをお渡しし、ご希望の方には当日フィルムコートした本を差し上げました。



ハンドベルと合唱コンサート

浦安市図書館友の会の主催により、5歳から12歳の児童を中心に構成された「ポコ・ア・ポコ合唱団」が、ハンドベルの演奏と合唱のコンサートを行いました。

お揃いの衣装で登場した合唱団の皆さんによるハンドベルの涼しげな音色が会場のラウンジに響きわたり、100名の参加者の方から大きな拍手がおこりました。



朗読の夕べ



浦安市読書会連絡協議会に加盟するサークルの方々による「竹取物語」と宮沢賢治作「セロ弾きのゴーシュ」、「雨ニモ負ケズ」の朗読を行いました。

「竹取物語」では紙芝居と朗読を交互に行い、「セロ弾きのゴーシュ」では、ギターの生演奏を取り入れた情感あふれる朗読でした。最後の「雨ニモ負ケズ」では、45名の参加者の皆さんも朗読に参加し、一体感のある朗読の夕べとなりました。

ライブラリーコンサート

浦安シティ・オーケストラ団員有志による室内アンサンブルコンサート。木管、弦楽、弦管の四重、五重奏によるクラシック名曲から日本の童謡、ポピュラーソングまで、幅広いレパートリーの演奏会でした。会場にはベビーカーを押した親子連れの方も参加するなど、42名の様々な年齢層の方が集まり、美しい演奏に聴き入っていました。



浦安いまむかし－定点撮影による浦安の歩み

浦安市立図書館では、昭和 62 年から、年に 1 回、市内の同じ地点から写真を撮る、定点撮影を行ってきました。時間の経過にしたがって変化してゆく街の景色を記録するためです。

図書館まつりでは、この中から何枚かの写真を地点別、時系列順に展示しました。毎日暮らしていると気がつかない街の変化を映し出した写真に、ふと足をとめ、熱心に見入る方が多くいらっしゃいました。



市民活動コーナー



日ごろ図書館で活動する読書会や文章サークルが、ポスターや機関紙を展示しチラシの配布を行い、来館された方々に活動状況をご案内しました。

図書館に関連する団体のコーナーでは浦安市図書館協議会、浦安市図書館友の会、NPO 法人タオの紹介を行いました。また、ハンディキャップサービスの資料製作協力の方が製作した拡大写本や布の絵本、市民の方の著作の展示も行いました。

30 周年のロゴマークとキャッチフレーズ

30 周年記念事業は復興、成長、実りの願いを込めて、「木」をイメージシンボルとし、ロゴマークには、30 枚の木の葉をあしらいました。

キャッチフレーズは「いつも あなたの となりに」。「これからもずっと図書館が市民のみなさんにとって身近な存在でありたい。みなさんの心のよりどころでありたい」という思いを込めました。



図書館クラブ あなたも図書館員

夏休みの3日間に、のべ16人の中学生・高校生が図書館の仕事を体験しました。カウンター業務や図書の整理の他に、図書館の職員といっしょにホームページも制作しました。

図書館まつりでは、これらの活動の成果を発表しました。中高生の新鮮な視点で図書館サービスをとらえた発表は、閉会式に出席された皆さんに大きな感銘を与えていました。



図書館クラブ 詩と物語を読む会



夏休みに図書館職員とともに詩と物語を楽しんできた子どもたちによる『雨ニモ負ケズ』の朗読から始まりました。続いて子どもたちがめいめい自分で選んだ詩を披露してくれました。また職員による長田弘氏の詩『世界は一冊の本』の群読がありました。

最後には、閉会式の出席者の方々も参加され、図書館まつりのメインテーマである「木」にちなんだ田村隆一氏の詩『木』を群読し、全員で詩を楽しみました。

閉会式

図書館館長より、図書館を30年間支えていただいた市民の皆様へご挨拶申し上げ、9時30分から始まった図書館まつりは19時30分に無事終了いたしました。

当日ののべ来館者数は4,053名、各事業の参加者数は合計2,119名でした。数多くの市民の皆さんのご協力によって、通常の開館日では行えないような様々な行事を開催することができ、幅広い年代の方にご参加いただいたことに、あらためて感謝申し上げます。



浦安市立 中央図書館 30年間の あゆみ



開館直前の中央図書館一般フロア（昭和 58 年）

昭和 55 年	8 月 6 日	（仮称）浦安町中央図書館建設委員会設置。
昭和 56 年	4 月 1 日	市制施行される。町立図書館から市立図書館に改称。
昭和 57 年	4 月 6 日	2 代目移動図書館「わかくさ号」巡回開始。
	5 月 7 日	堀江公民館図書室（昭和 58 年 3 月 1 日、堀江分館に改称）
	6 月 26 日	「浦安市読書会連絡協議会」発足。
昭和 58 年	3 月 1 日	浦安市立中央図書館開館。猫実分館（旧市立図書館を改称）、堀江分館と漢字表記による電算オンラインサービス開始。
	5 月 7 日	富岡公民館図書室開館。（昭和 58 年 12 月 21 日、富岡分館に改称）
昭和 59 年	3 月 24 日	中央図書館開館以来の貸出冊数 100 万冊を達成。
	3 月 31 日	日本で初めて、市民 1 人当たりの年間貸出冊数が 2 桁を突破。（11.4 冊）
	7 月 1 日	利用者用図書検索システム（UBIS）を設置。
昭和 60 年	7 月 6 日	中央公民館図書室開館。（猫実分館が移転、改称）
	11 月 1 日	第 1 回日本図書館協会建築賞「優秀賞」受賞。
昭和 61 年	7 月 1 日	中央図書館に洋書コーナーを設置。
昭和 62 年	2 月 13 日	優良施策実施市町村の図書館サービスシステムが県知事より表彰を受ける。
	5 月 7 日	美浜公民館図書室開館。
昭和 63 年	7 月 28 日	累計貸出冊数 500 万冊突破。
平成元年	4 月 1 日	浦安市立中央図書館書庫棟開設。
平成 4 年	5 月 7 日	葛南病院で巡回貸出サービス開始。
平成 5 年	3 月 1 日	「浦安市図書館友の会」発足。
	6 月 5 日	「本の案内」コーナーを中央図書館に設置。
	6 月 8 日	累計貸出冊数 1,000 万冊突破。
	10 月 30 日	開館 10 周年記念講演会開催。作家、大江健三郎氏。
平成 6 年	5 月 9 日	学校図書館と市立図書館のネットワーク開始。
平成 8 年	7 月 2 日	当代島公民館図書室開館。
平成 9 年	3 月 1 日	累計貸出冊数 1,500 万冊突破。
	3 月 14 日	電算システムに対して、優良情報化団体として自治大臣より表彰を受ける。
	7 月 1 日	貸出冊数を 5 冊から 10 冊へ緩和する。

平成 10 年	7 月 1 日	日の出公民館図書室開館。
平成 11 年	3 月 29 日	順天堂大学医学部附属浦安病院に、図書コーナーを設置。
平成 12 年	4 月 16 日	中央図書館開館以来の総貸出冊数 2,000 万冊を突破。
	12 月 1 日	浦安市立図書館ホームページ開設。
平成 14 年	9 月 3 日	明海大学浦安キャンパスメディアセンター（図書館）市民開放事業開始。
	11 月 1 日	インターネットによる予約開始。
	12 月	浦安市川市民病院図書コーナー開設。
平成 15 年	2 月 1 日	中央図書館開館 20 周年記念展示開始。
	4 月 23 日	子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰を受ける。
平成 16 年	4 月	中央図書館夜間開館（平日午後 8 時まで）・祝日開館開始。
	11 月	ホームページでの貸出延長手続きが可能となる。
平成 18 年	2 月 8 日	累計貸出冊数 3,000 万冊突破。
	3 月	蔵書冊数 100 万冊突破。
	4 月 1 日	新浦安駅前プラザ・マーレに「図書サービスコーナー」がオープン。
	4 月 12 日	中央図書館に休憩・飲食室（ラウンジ）オープン。
	9 月 1 日	インターネットによる在架資料の予約開始。
	12 月	移動図書館事業終了。
平成 20 年	3 月 31 日	年間貸出 200 万冊を突破。
	3 月 1 日	中央図書館開館 25 周年。
平成 21 年	4 月 1 日	視聴覚資料の貸出点数を 2 点から 4 点へ緩和する。
平成 22 年	7 月 1 日	舞浜駅前行政サービスセンターにおいて返却資料の受付及び予約資料の貸出開始。
	7 月 6 日	浦安市立図書館高洲分館開館。
	10 月 20 日	累計貸出冊数 4,000 万冊突破。
平成 23 年	3 月 11 日	「東日本大震災」発生。
	3 月 16 日	全館休館に入る。
	4 月 25 日	中央図書館、開館時間を午後 5 時までとして再開。
	5 月 1 日	各分館、開館再開。
		新浦安駅前プラザ・マーレ図書サービスコーナー、開館時間を一部変更し再開。
	6 月 1 日	中央図書館の開館時間を午後 6 時までの臨時体制とする。
平成 24 年	3 月 15 日	東京ベイ・浦安市川医療センターの改築工事終了に伴い団体貸出を再開。
	4 月 1 日	中央図書館、各分館（高洲分館除く）、図書サービスコーナーの開館時間を平常どおりとする。
	9 月 3 日	浦安駅前行政サービスセンターにおいて返却資料の受付及び予約資料の貸出開始。
	10 月 1 日	舞浜駅前行政サービスセンターにおいてサービスを再開。
平成 25 年	3 月 1 日	中央図書館開館 30 周年。

* より詳細な年表につきましては、『浦安市立図書館概要』でご覧いただけます。

開館30周年記念ブックカバーが ホームページからダウンロードできます

中央図書館の開館30周年を記念して、4種類のブックカバーを作成しました。

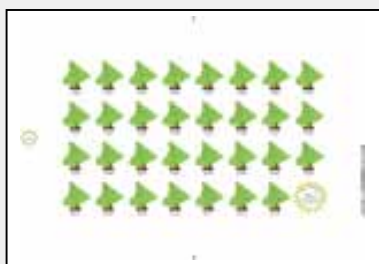
全て図書館の職員によるオリジナルデザインです。

浦安市立図書館ホームページにブックカバーのPDFファイルをご用意しました。

(<http://library.city.urayasu.chiba.jp>)

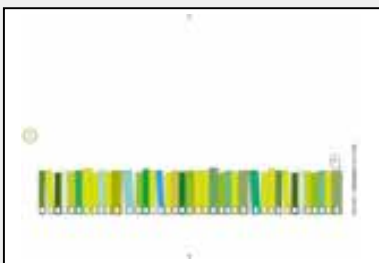
トップページ上部の「NEWS」欄の「開館30周年記念ブックカバーダウンロード」からダウンロードができます。お手持ちのプリンタで印刷して、お使いください。

→ブックカバーAタイプ



浦安市立図書館が30年間でどのように増えていったのかを表現しました。浦安市の形を木に見立て、それぞれの図書館の場所を果実で描いてあります。

→ブックカバーBタイプ



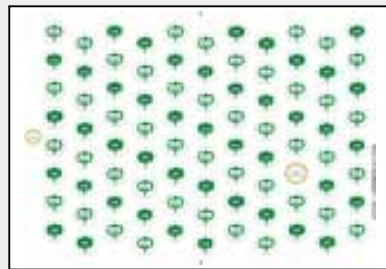
図書館といえば何ととっても「本」です。本棚にたくさんの本が並んでいる様子をデザインしました。

→ブックカバーCタイプ



枝を広げた大きな一本の樹は、様々な生き物に恵みを与えます。浦安の中央図書館も、大きな樹のように、市民のみなさまの暮らしに潤いをもたらしことを願っています。

→ブックカバーDタイプ



木に本の形を組み込み、木の幹の部分を人型にすることで「人+本=図書館」を表しました。

「LIBRARY」「LIFE」「LOVE」の文字には、図書館が生活の一部になり、末永く愛していただけよう願いを込めました。

30周年記念講演会の動画を 配信しています

中央図書館開館30周年記念講演会の動画配信を行っています。浦安市立図書館ホームページよりご覧いただけます。

(<http://library.city.urayasu.chiba.jp>)

日時：平成25年8月31日（土）13時～14時30分

会場：浦安市立中央図書館視聴覚室

テーマ：「わたしたちにとって大切なもの」

講師：詩人 長田弘氏

約1時間半の動画となっています。ホームページの「新着情報」欄よりご覧いただけます。同じページには、講師の長田弘氏の著作リストへのリンクも掲載してあります。

図書館のホームページでは、記念講演会の動画のほか、ブックツリーやぬいぐるみおとまり会などさまざまな30周年記念事業の写真や報告がご覧いただけます。

編集後記

中央図書館開館 30 周年記念特集号をお届けいたします。今後も浦安市立図書館が市民の皆様にとって親しみやすく身近な生涯学習施設と感じていただけるようにするとともに、多様な課題解決に役立つ情報拠点としてサービスの充実に努めてまいります。

浦安市立図書館報 第 77 号

発行日 平成 26 年 3 月 10 日

編集・発行 浦安市立図書館

〒279-0004

千葉県浦安市猫実 1-2-1

TEL 047-352-4646

<http://library.city.urayasu.chiba.jp/>